

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	モーターボート競走事業		
担当部・課名	競艇事業局競艇管理課	評価者 (課長)	河村拓造	評価責任者 (局長)	山本貴隆

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	900301	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)積極的な財源の確保			会計名	15モーターボート競走事業会計

事業の目的 (対象)	モーターボート競走事業によって得られた収益をもって周南市が提供する市民サービスの充実や、まちづくり施策の円滑な実施を支えます。	事業の目的 (意図)	モーターボート競走法(第1条、第31条)等に規定されているとおり、住民福祉の向上や増進に寄与します。
事業の内容 (手段)	今後も安定的にモーターボート競走事業を実施することで、その収益を継続的に一般会計へと繰出し、住民福祉の向上や市の財政運営の健全化等に貢献します。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	13,045.0	94,682.0	71,193.0
					実績値	1,706,236.0	1,678,614.0	
					達成度(%)	13079.6%	1772.9%	
当年度純利益(千円)	達成項目/目標項目	%						

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円	27,437,491	30,075,585	31,800,656	43,065,915	35,304,091
	うち一財	千円	0	0	0	0	
直接事業費 (決算額)	千円	34,500,579	39,266,370		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
	うち一財	千円	0	0		モーニング場の増加に伴い、一般レースの売上の増減が不透明ではあるが、SG開催に伴い舟券収益を大幅増加と見込んだ。	SG開催に伴う舟券収益見込み分を差し引いて見込んだ。
	正職員人件費	千円	140,695	139,213			
	人工数	人	19.00	19.00	19.00		
	支出コスト	千円	決) 34,641,274	決) 39,405,583			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	発売形態割合が変化し、本場発売(5%)から電話投票(57%)や場間場外発売(35%)といった広域発売に移行しています。平成23年2月から「モーニングレース」を導入し、それ以降黒字に転じ、一般会計へH24からH29の6か年で6億円を繰り出しました。	課題・問題点	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 本場来場者の減少に比例して、本場の売上金額も減少しています。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	①施設をよりコンパクトにすることで、ランニングコストの削減を図ります。②特別観覧施設ROKUを積極的に活用し、新たなファン獲得に向けた取り組みをします。③新たな拠点施設としての小規模場外発売所の開設を目指します。④全国23場及び場外発売場への営業活動を強化します。⑤ロイヤル席を新設し、質の高いサービスを提供することにより有力顧客の囲い込みを行います。	評価責任者コメント	引き続き売上も好調で収益も確保できています。施設改善を進めながら一般会計への繰出しも続けることが出来そうです。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
①SGグランドチャンピオン開催に向けた事業経費を確保しました。②本場30km商圏活性化徳山モデルに取り組みます。③モーニングレースの売上強化のため積極的に営業活動を展開します。④新中央スタンドに設置した特別観覧施設「ROKU」を活用し新規ファン(若年層や女性ファン)の獲得を目指した事業を展開します。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①							
②							
③							
④							